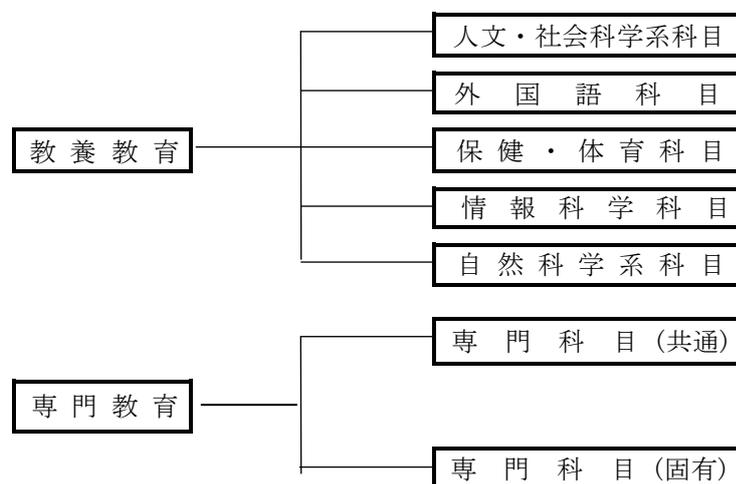


2. 教育課程

2.1 教育課程の概要

本学の教育課程は、教養教育と専門教育から成っている。



1) 教養教育

これからの社会が高度化・複雑化してゆくなかで、これらの環境にも適応して、新しい未来を切り拓いてゆくためには、様々な角度から物事をみることができる能力や、自主的・総合的に考える的確な判断ができる能力、豊かな人間性を養い、自分の知識や人生と社会との関係を位置づけることのできる能力を備えていくことがきわめて重要である。そのため、本学では、社会人としての基礎的素養を養う人文・社会科学系科目、異文化コミュニケーション力を培う英会話等の外国語科目、心身の健康に関する科目、情報リテラシー（情報活用能力）の向上のための情報処理科目など幅広い分野の科目とともに、基礎科学力を向上させ専門課程へ円滑に移行するための基礎科学科目、学際的な専門基礎科目等が開設され、多様な履修歴を持った学生でも対応できるような教養教育科目が用意されている。また、学年進行に応じてそれらの科目を履修するだけでなく、学生各自が真に必要と考える時期に履修できるようなカリキュラム編成がなされている。

2) 専門教育

学術の著しい進展や社会・経済の変化に伴って、学問分野・学科の細分化や専門化が進行している一方で、とくに環境・情報等の分野では、自然科学と人文・社会科学の融合・複合化が進行している。このため、本学の専門教育では、専門の骨格を正確に把握できるよう基礎・基本を重視した講義内容とするとともに、学生が広い視野を持って学問を総合的に捉えることができる科目として各学科の専門概論科目、環境倫理等の複合領域科目、各学科の専門基礎英語を学習するための科学英語科目など数多く開講される。さらに、野外の調査・実験・実習、演習（ゼミナール）、卒業研究等の科目において、少人数・対話型の実践的授業形式を採用し、学生が主体的に課題を探求し解決してゆくことにより高い専門性を身につけることができる。これに加えて、学科の枠を超えてより幅広い知識と技術を身につけることができる新しい履修課程、コース制を2019年度から導入している。

2.2 教育課程編成の特色

1) 教養教育と専門教育のクサビ型カリキュラム編成

教養教育科目と専門教育科目をクサビ型に組み合わせたカリキュラム編成として、入学後できる限り早期より専門分野に興味をもたせる反面、教養的科目は卒業までの興味が起きた時期に履修すればよいという4年一貫性教育を目指したカリキュラム編成としている。

2) セメスター制の導入

最近のグローバル化した大学入学制度に合わせて、学期単位で個々の授業を完結させるカリキュラム編成を行うことにより、学生の履修の幅を広げ、かつ、教育効果を高めるセメスター制を導入している。

3) 基礎教育科目のリメディアル教育の実施

多様な学習履歴を持った学生を対象に、本学の教育に必要な理科系の基礎学力を補填するために、高校教育の補習にあたるリメディアル科目（基礎生物学、基礎化学、基礎物理学、基礎数学）を用意している。このリメディアル教育を必要とする学生はそれらの基礎科目を受講した上で、大学本来の自然科学系科目を受講するよう指導する。

4) 異文化コミュニケーションのための英語教育の重視

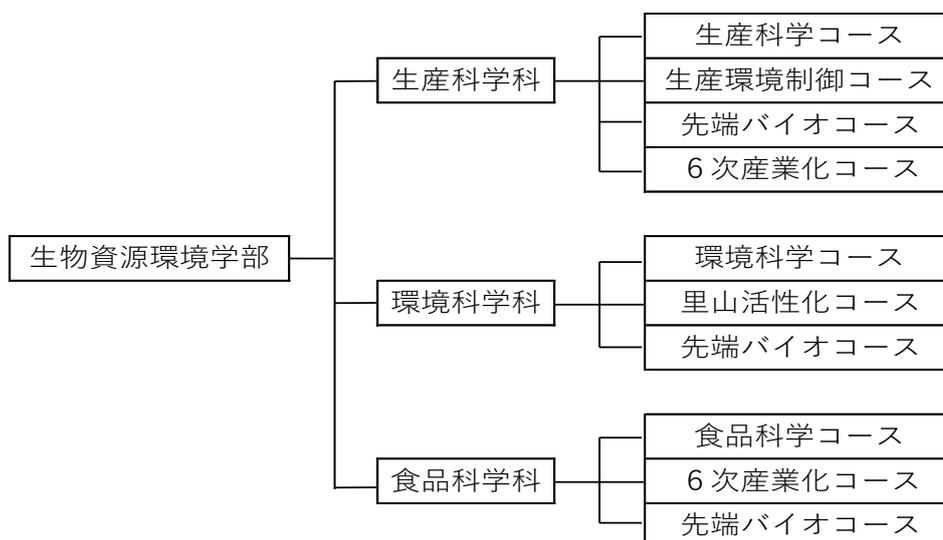
科学技術に限らず社会のあらゆる分野で国際化が進んでいる時代にあって、国際語ともいうべき英語が自由に使いこなせることが不可欠である。そのため、本学では英語の基礎教育に重点をおき、少人数制を取り入れて学力の向上を目指したカリキュラム編成をしている。

5) 情報リテラシー教育の重視

IT時代の到来により、情報技術を駆使する能力を身に付けることがますます重要になってきていることから、情報科学科目の履修を全員に課すカリキュラム編成をしている。

6) コース制の概要

それぞれの学科で希望する進路に必要な知識を、体系的かつ効果的に学ぶことができるよう、下図のように3学科10コースから構成される。



2.3 教育課程の編成

教育課程は、教養に関する「教養教育科目」と専門に関する「専門教育科目」とに大別される。教養教育科目は、「人文・社会科学系科目」、「外国語科目」、「保健体育科目」、「情報科学科目」、「自然科学系科目」で構成されている。一方、専門教育科目は「専門科目」とし、全学科または複数学科で開講する「共通科目」と、各学科の「固有科目」から成る。

卒業に最低必要な単位は、124単位とし、「教養教育科目」から必修科目を含め40単位、「専門教育科目」から必修科目を含め84単位を修得しなければならない。

2.4 教養教育科目

本学で開講する教養教育科目は、全学科共通の科目で、表2.1に示すとおりである。自然科学系の分野については、単に教養教育科目としてだけではなく、「専門科目」の前段階の科目として位置づけ、主に専門科目を担当する教員が分担して教育を行う。その他の教養教育科目は、原則として、学科とは独立した教養教育センターの教員が担当する。

1) 人文・社会科学系科目

人文・社会科学系科目として、哲学、経済学、文学等の12科目が開講されるが、卒業までに5科目10単位を修得しなければならない。

2) 外国語科目

外国語科目については、本学では、英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、英語コミュニケーションA・B、教養のための英語A・B、地球市民のための英語A・B、アカデミック・ライティング、アカデミック・プレゼンテーションの12科目を開講している。このうち、1～2年次に8科目（うち6科目は必修）8単位以上を修得しなければならない。

英語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、英語コミュニケーションA・B（いずれも必修科目）では、総合的なトレーニングを通して「読む・聞く・書く・話す」という中学・高校で養った英語四技能についての基礎力を向上させることを目指す。

教養のための英語A・B、地球市民のための英語A・B、アカデミック・ライティング、アカデミック・プレゼンテーションでは、英語を用いて視野を広げると同時に実務能力を高めることを目標とする。

その他の外国語の学習を希望する学生は、いしかわシティカレッジまたは放送大学との単位互

換制度により単位修得（2単位のものは1単位に認定）すれば、1つの外国語に限り4単位を上限に、その他の外国語として卒業に必要な教養教育科目の単位数（外国語科目8単位に含まない）に数えることができる。

※履修規程の改正に伴い、改正前の規程との科目の読み替えを行います。

改正前の規程での科目名称	改正後の規程での科目名称	開講開始年度
実用英語ⅠA	教養のための英語A	2024年度
実用英語ⅠB	教養のための英語B	2024年度
実用英語ⅡA	地球市民のための英語A	2024年度
実用英語ⅡB	地球市民のための英語B	2024年度
英会話A	英語コミュニケーションA	2024年度
英会話B	英語コミュニケーションB	2024年度
英作文A	アカデミック・ライティング	2024年度
英作文B	アカデミック・プレゼンテーション	2024年度

- ・改正前の規程での科目（以下「改正前科目」という。）で既に単位を修得している場合、改正後の規程での科目（以下「改正後科目」という。）は履修できません。
- ・改正後科目の履修を行う場合、履修登録と成績評価は改正後科目として行いますが、単位は改正前科目で認定します。

3) 保健体育科目

演習に準じる講義科目1科目（健康科学）を必修とし、実技科目4科目（スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）を選択科目として開講し、必修科目1単位を含めて2単位修得しなければならない。

4) 情報科学科目

情報処理能力の向上を図るため、コンピュータリテラシー教育を、入学直後から徹底して行う。具体的には、情報処理概論、情報処理演習Ⅰを全学科必修とし、専門分野に対応させた情報処理演習Ⅱ・Ⅲを選択科目として開講し、必修科目3単位を含めて4単位修得しなければならない。充実したコンピュータ設備を駆使して、本学部での実験・実習や卒業研究等に必要不可欠な情報処理はいうまでもなく、今後の情報化時代に対応できる基礎的能力を養う。

5) 自然科学系科目

生物資源環境学の基礎となる自然科学系の科目は主に1年次に配置し、リメディアル科目（基礎生物学・基礎化学・基礎物理学・基礎数学）は前期に配置する。リメディアル科目に対応する生物学、化学、物理学、数学等の科目は後期に配置するとともに、それらの科目の実験・実習を行って、実験器具の扱い方、注意事項等の基礎知識と実験法を習得させる。自然科学系科目は、10単位修得（リメディアル科目は卒業要件の単位に含まない）しなければならない。

表2.1 教養教育科目

<履修規程 別表2>

※開講学期補記

分野	科目番号	授業科目の名称	配当年次	開講学期		単位数		備考
				前期	後期	必修	選択	
人文・社会科学系	100	哲学	1	○			2	10単位以上修得のこと
	101	人間と自然の調和	2	○			2	
	102	経済学	2	○			2	
	103	文学	1		○		2	
	104	歴史学	2	集中			2	
	105	法学	1	○			2	
	106	社会学	1	○			2	
	107	心理学	1	○			2	
	108	現代社会と生涯学習	1		集中		2	
	109	日本国憲法	1		○		2	
	110	子どもの発達と遊び	2	○			2	
111	ジェンダー論	1	○			2		
外国語	120	英語ⅠA	1	○		1		必修科目6単位を含め 8単位以上修得のこと
	121	英語ⅠB	1		○	1		
	122	英語ⅡA	2	○		1		
	123	英語ⅡB	2		○	1		
	124	教養のための英語A(実用英語ⅠA)	2	○			1	
	125	教養のための英語B(実用英語ⅠB)	2		○		1	
	126	地球市民のための英語A(実用英語ⅡA)	2	○			1	
	127	地球市民のための英語B(実用英語ⅡB)	2		○		1	
	128	英語コミュニケーションA(英会話A)	1	○		1		
	129	英語コミュニケーションB(英会話B)	1		○	1		
130	アカデミックライティング(英作文A)	2	○			1		
131	アカデミックプレゼンテーション(英作文B)	2		○		1		
保健体育	140	健康科学	1		○	1		必修科目1単位を含め 2単位以上修得のこと
	141	スポーツ実技Ⅰ	1	○	○		1	
	142	スポーツ実技Ⅱ	2	○	○		1	
	143	スポーツ実技Ⅲ	1	集中			1	
	144	スポーツ実技Ⅳ	1		集中		1	
情報科学	160	情報処理概論	1		○	2		必修科目3単位を含め 4単位以上修得のこと
	161	情報処理演習Ⅰ	1	○		1		
	162	情報処理演習Ⅱ	2	○			1	
	163	情報処理演習Ⅲ	2		○		1	
自然科学系	180	基礎生物学	1	○			(1)備考①	10単位以上修得のこと ① 基礎生物学、基礎化学、基礎物理学、基礎数学は、リメディアル科目であるため、卒業に必要な単位数には含めない。 ※上記科目の単位は、履修単位として認定し、進級条件の単位数には含めません。 科目番号180～196は学科ごとに開講されている。
	181	基礎化学	1	○			(1) "	
	182	基礎物理学	1	○			(1) "	
	183	基礎数学	1	○			(1) "	
	184	数学	1		○		2	
	185	統計学	1		○		2	
	186	生物学	1		○		2	
	187	無機化学	1		○		2	
	188	有機化学概論	1		○		2	
	189	物理学	1		○		2	
	190	地学	2	○			2	
	191	生物学実験	2	○			1	
	192	無機化学実験	1		○		1	
193	有機化学実験	1		○		1		
195	物理学実験	2		集中		1		
196	地学実験	2	集中			1		
教養科目の合計						10	55	40単位以上修得 ①英語以外の1つの外国語でいしかわシティカレッジ・放送大学において認定された単位(4単位以内)を含む。 ②その他の教養教育科目(自然科学系科目を除く)で他の大学及びいしかわシティカレッジで認定された単位(①と合わせ6単位以内)を含む。